

キッズパーク古典探検隊 30 回記念 「第 1 回小学生百人一首大会」

## たいかい 大会ルール

### 【試合要綱】

- ・ 1 対 1 の対戦
- ・ 青と黄、2 つのカテゴリーに分けて、それぞれ対戦し、各色事に優勝者を決める。

1. 読み手の合図で挨拶、握手をしよう。

2. じゃんけんで勝った方が最初に好きな方の束を選ぼう。

そのとき、一番上の1枚しか見ちゃだめだよ。

3. 札の頂点を合わせて、札をならべよう。横はあけるよ。

準備ができれば、「準備できました」と手を挙げて言おう。

4. 「札を覚えてください」と審判に言われたら、1分間、札をおぼえ

てね。裏をみてもいいよ。どこに、どの札があるか、おぼえるの

もいいよね。札の位置を動かしちゃ、だめだよ。

5. 1分経ったら、読み手は歌を詠みます。

ご用意良ければ、昭憲皇太后の御歌を一首

磨かずば 玉も鏡もなにかせん 学びの道も かくこそありけれ

この歌が詠まれたら、競技開始だ！

6. 姿勢を正して、手は、膝の上。手をかざしながら札を探してはい

けないよ。

7. 札は 17枚読んで、多くとった方が勝ち。
8. 下の句は、1回読まれます。出札(読まれた札)が見つからなくても、次の歌が詠まれるよ。その時は、あきらめて、つぎの歌を探してね。
9. 札を取る時は、「はい」と大きな声で！
- 取った札は、自分の右側に、裏返しにして置こう。
10. 同時の場合は、手が下の方。不明の時は、じゃんけんで決める。
11. 読み手が札を読む間(間の時間)は、札の後ろを返して、覚えてもいいよ。次の札を読み始めたら、見てはだめ。
12. お手付きは、パンパン、と2つ札を取った場合は、2回のお手付きとなるよ。
13. お手付きした札は、捨て場に、表向きにして置こう。
14. 捨て場に出した札は、次に勝った人が取るんだ。取り忘れて次の札が読まれたしたら、もう取ることはできないよ。
15. 試合中、場の札の枚数が減っても、札の場所を動かしてはダメ。
16. 自分たちの組が札を取った後も、読み手が歌を詠んでいるときがあるよね。その時は、取り札の裏をみて覚えていいよ。だけど、次の札を読み始めたら見ちゃだめなんだ。
17. 次の札を読み始めたら、それ以前の札を取ることはできない

から<sup>き</sup>気をつけて！

18. <sup>ひやくにんいっしゆ</sup>百人一首は、<sup>せいざ</sup>正座で。<sup>ねころんだり</sup>寝転んだり、<sup>うごきまわったり</sup>動き回ったりしたときは、  
ペナルティーとして、<sup>もちふだ</sup>持ち札を<sup>1まい</sup>1枚捨て場に出すことになるよ。
19. <sup>まいよんだらしゆりよう</sup>17枚読んだら<sup>おおく</sup>終了。多くとった方が<sup>ほう</sup>勝ち。
20. 取った<sup>ふだ</sup>札の枚数が同じだった場合は、<sup>ばあい</sup>残りの<sup>のこり</sup>3枚の<sup>ふだ</sup>札の中から  
「<sup>しょうぶ</sup>勝負の<sup>1まい</sup>1枚」を<sup>よむ</sup>読む。この<sup>ふだ</sup>札を取ったものが<sup>かち</sup>勝ち。もしくは、  
<sup>おてつき</sup>お手付きをしたものの<sup>まけ</sup>負け。この「<sup>しょうぶ</sup>勝負の<sup>1まい</sup>1枚」は、「<sup>とったまいすう</sup>取った枚数」  
には含めないでね。
21. <sup>しあい</sup>試合が終わったら、<sup>しんぱん</sup>審判は<sup>とったまいすう</sup>取った枚数と<sup>しょうはい</sup>勝敗を<sup>たいせんかーど</sup>対戦カードに  
<sup>きにゆう</sup>記入。これがおわるまで、<sup>さんかしゃ</sup>参加者はその<sup>ば</sup>場を<sup>うごいて</sup>動いてはいけないん  
だ。
22. <sup>すべて</sup>全ての<sup>たいせんかーど</sup>対戦カードの<sup>きにゆう</sup>記入を<sup>かくにん</sup>確認したら、<sup>よみて</sup>読み手の「ありがと  
<sup>あと</sup>うございました」の<sup>つづいて</sup>後に続いて「<sup>あくしゅ</sup>ありがとうございました」と、<sup>あくしゅ</sup>握手、  
<sup>れい</sup>札をしよう。<sup>ふだ</sup>札が<sup>20まい</sup>20枚揃っていることを<sup>かくにん</sup>確認して<sup>ふだ</sup>札をおいて、<sup>つぎ</sup>次  
に<sup>すすもう</sup>進もう。

## お手付きのルール

1. 間違えた札に触れたら「お手つき」。

お手つきした場合には、自分の取った札から1枚、捨て場に出す。

•2度お手つきがあったら2枚出す。

•持ち札がない場合には、「1回休み」。

2. 自分の前、相手の前、どちらの札もお手つきとなる。

3. 「捨て場」は、札の真ん中左側。お手つきの札はそこに重ねて置く。

4. 「捨て場」の札は、次の札を取った人が1枚だけもらえる。

同じ読み上げの中で、片方が間違えてお手つきをし、もう片方

が正しい札を取ったとしても、場の札はもらえない。

5. 「捨て場」に2枚以上あった場合には、その次の札を取った人も1枚も  
らえる。

6. 試合終了後に、「場」に札が置かれていることもあり得る。

※今回のルール作成に当たっては、TOSS 五色百人一首大会公式ルールを参考にしました。



キッズパーク古典探検隊